

平成30年10月17日

会 員 各 位

中 部 経 済 同 友 会

財 政 ・ 金 融 問 題 委 員 会

委 員 長 中 村 昭 彦

副 委 員 長 尾 山 英 樹

副 委 員 長 寺 尾 達 朗

副 委 員 長 渡 辺 克 久

## 財 政 ・ 金 融 問 題 委 員 会 主 催 講 演 会 の ご 案 内

日頃は当委員会活動にご支援をいただき誠にありがとうございます。

当委員会では、財政、金融の動向および税財政、社会保障問題等に精通した有識者を招聘し、時宜に合ったテーマでご講話いただくなど、会員各位のマネジメントに資する企画に取り組んでおります。

日本経済は緩やかな回復軌道を進っていますが、世界経済の先行きは不透明感を増しており、貿易取引や為替変動などを通じわが国経済に影響を及ぼすリスク要因は山積しています。中部地区は輸出型産業が集積する産業構造もあり、海外経済の影響を受けやすいことから、我々は日本を取り巻く足元のグローバル経済の状況とリスク要因による我が国への影響を適切に見極めることが求められます。

そこで今回は元外務省事務次官で、現在は外務省顧問、三菱商事株式会社取締役の齋木昭隆氏をお迎えし、下記の通りご講演いただきます。永年にわたり日本外交の最前線でご活躍された齋木氏からは、米国の保護主義的な通商政策や11月の中間選挙結果、英国のEU離脱問題、中国の経済政策等、激変する世界情勢の今後を見通すうえで大変示唆に富んだお話を伺えるものと存じます。是非とも多数の皆様にご出席いただきますようお願い申し上げます。

### 記

1. 日 時 平成30年12月11日(火) 10:00~11:30

(※) 開催時間が通常と異なります。ご注意ください。

(※) 財政・金融問題委員会委員の皆様には講演終了後開催予定の意見交換会を別途ご案内しております。

2. 場 所 名古屋東急ホテル 3階 バロックの間 Tel:052-251-2411

3. 講 師 元 外務省事務次官 齋 木 昭 隆 氏

(ご略歴) 1952年生まれ。駒場東邦高校、東京大学教養学部卒業後、76年 外務省入省。アジア大洋州局長、特命全権大使インド国駐劄兼ブータン国駐劄、外務審議官、外務事務次官を経て、2016年 同省退官。同年 三菱商事(株) 顧問、17年 同社 取締役(現職)。

4. 演 題 「視界不良の時代における日本外交の課題」

5. 会 費 無 料

※ご出席の場合は同封の返信用紙にて 12月7日(金)までにFAXでご回示ください。

以 上